



大和協力

学校目標: ~夢や目標をもち、思いやりの心とチャレンジ精神に満ちあふれた生徒の育成~

【第13号】令和8年9月1日発行

発行者 佐賀市立大和中学校

文責 木村 信人

<https://www.education.saga.jp/hp/yamato-j/>



2学期が始まりました。「一步前へ」

長い夏休みが終わり、2学期が始まりました。学校には再び元気な声が響き、活気ある日常が戻ってきました。夏休みを終えた生徒が元気に登校し、新しい学期をスタートできたことを大変うれしく思っています。

1学期の終業式では、「夏休みの約1000時間の中で、自分が頑張ったこと、やり遂げたことを一つ一つ挙げてほしい」と話しました。部活動に打ち込んだ人、学習に力を入れた人、新しいことに挑戦した人、家族との時間を大切にしたり人など、この夏の過ごし方は一人一人違っていたことでしょう。しかし、どのような過ごし方であっても、その経験や積み重ねは確かな成長につながっています。登校してきた一人一人の表情からは、それぞれに充実した夏休みを過ごした様子がうかがえました。

さて、2学期は一年の中で最も長い学期です。修学旅行や文化発表会、合唱コンクール、そして3年生にとっては進路決定に向けた大切な時期を迎えます。こうした行事や活動は、本番の成功だけに価値があるわけではありません。仲間と話し合いながら準備を進めたり、自分の役割に責任をもって取り組んだりする過程そのものが、大きな成長につながります。時には思うようにいかず、悩んだり迷ったりすることもあるでしょう。しかし、その経験こそが次の一步を支える力になります。

そこで、2学期のキーワードとして、「一步前へ」という言葉を伝えました。

自信がないからと立ち止まるのではなく、一步前へ。誰かがしてくれるのを待つのではなく、自分から一步前へ。失敗を恐れて挑戦を諦めるのではなく、勇気を出して一步前へ。大きな成長は特別な人だけに訪れるものではありません。毎日の小さな一步の積み重ねが、やがて大きな成長につながっていきます。

2学期には、一人一人が自分自身と向き合い、仲間と支え合いながら成長できる機会が数多くあります。この学期が、新たな可能性に出会う時間となることを願っています。そして、それぞれの「一步前へ」が重なり合うことで、学級や学年、そして学校全体がさらに前進していくことを期待しています。

まだ暑い日が続きます。ご家庭におかれましても、お子様の健康管理にご配慮いただきますようお願いいたします。2学期も保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

県吹奏楽大会、県中体連（男子バレー・サッカー・剣道）

(ホームページ用では、鮮明な顔写真や生徒名は載せておりません)

前号では、柔道競技と陸上競技の県大会における活躍を紹介しました。その後も、各部の生徒たちは県大会や九州大会、吹奏楽コンクールなど、それぞれの舞台で力を発揮しました。仲間とともに積み重ねてきた努力の成果を発揮し、最後まで粘り強く挑戦する姿は大変頼もしいものでした。ここに、その結果を紹介します。

なお、今年度からクラブ(社会体育)として中体連に参加した水泳(個人・団体)が、九州大会に出場しましたので、一緒に紹介したいと思います。

県大会



【吹奏楽】

- ・中学校B部門 金賞

【バレーボール男子】

- ・準決勝惜敗(第3位)

【サッカー】

- ・準決勝惜敗(第3位)

【剣道団体】

- ・女子 準優勝(九州大会出場)

【剣道個人】

- ・〇〇 〇〇(3年) 3位(九州大会出場)
- ・〇〇〇〇〇(3年) 3位(九州大会出場)
- ・〇〇 〇〇(2年) 二回戦惜敗
- ・〇〇 〇〇(2年) 一回戦惜敗
- ・〇〇 〇〇(2年) 一回戦惜敗



九州大会



【剣道団体】

- ・女子 第3位

【剣道個人】

- ・〇〇〇〇〇(3年) ベスト8
- ・〇〇 〇〇(3年) 一回戦惜敗

【水泳】

- ・〇〇〇〇〇(3年) 100m 自由形 4位入賞
50m 自由形 6位入賞
- ・〇〇〇〇〇(3年) 200m 自由形 10位
400m 自由形 10位
- ・〇〇 〇〇(2年) 1500m 自由形 14位
- ・〇〇 〇〇(1年) 100m バタフライ 11位
- ・400m フリーレー 7位
- (〇〇〇〇〇、〇〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇)
- ・400m ストレレー 6位
- (〇〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇〇)



今後、学校 Web や学校だよりでの画像などの掲載で、都合が悪いことがありましたら本校教頭までお電話ください。

2学期始業式に行った「生徒意見発表」では、4名の生徒がこれまでの振り返りや、2学期の目標について発表しました。

「今が幸せ」1年2組 OO OO さん

私には目標があります。柔道の団体戦で大将として出ること、それと個人戦で入賞することの二つです。私が柔道部に入ろうと思ったきっかけは、部活動紹介で先輩が背負い投げをしているのを見て、とてもかっこよく魅力的に感じたからです。スポーツの良さは人をひきつける輝くものがある所です。私はその時、柔道がひとときわ輝いていて、やってみたくて強く思いました。

柔道部に入部して四か月程経ち、最初の頃と比べて、柔道のことが分かってきて楽しさが増してきました。いつも練習の最後の方に乱取りをします。相手をお願いして時間まで技を掛け合う練習です。最初の頃は女子の先輩とばかり練習をしていました。だけど最近はいろいろな人と組むようにしています。とても投げられます。なので、肩やひざが痛みます。悔しくて泣いてしまうこともあります。しかし、今がとても充実していると感じています。こんなにも熱くなれるスポーツにめぐりあった私はとても幸せです。

この幸せが続くように、一日一日を大切に、周りの人全員に親切に、謙虚に、礼儀よく頑張ります。憧れの先輩達のように、技を決めた時の、あの会場の盛り上がり、それを自分がつくりたいです。片渕先生、向井先生、柔道部のみんな、これからもよろしくお願いします。



「意見発表」2年2組 OO OOO さん

私は、2年生に上り、限界を超えるという抱負を決めました。それは精神面や体力の面で、自分が決めたゴールを上回ることです。社会体育のバスケットボールでは、一番のライバルとして尊敬する3年生のキャプテンに負けないようなプレーをするという目標を立て、毎日の練習や練習試合では、昨日の自分より少しでも強くなろうと、頑張っています。しかし、バスケでは上手くいくことばかりではありませんでした。上手くボールが繋がらない日や、負けばかりの日もありました。戦略をめぐって、チームメイトと口論になったこともあり、きつと感じる日も多かったです。そのような時は「限界を超える」という抱負を思い出し、限界を超えて、中体連で活躍するチーム姿を思い浮かべました。また、2人の先輩が励ましてくれたことも、私の心を奮い立たせました。おかげで、ランメニューや試合に負けそうな時など、くじけそうな場面でも、2年生10人で乗り越えることができました。たくさん喧嘩をすることもあります。喧嘩をするたびに、良い関係が築けるよう、話し合いを重ねたり、自分の成長にも繋がったりと、私にとってはかけがえのない経験です。

2ヶ月前に行われたさがし中隊練では、3位という成績を収めることができました。それから約2ヶ月が経ち、新チームとなった今、私たちは県大会出場という新しい目標に向けて動き始めています。

「限界を超える」という抱負はそのままだに、先輩たちから引き継いだこのチームと、仲間を大切にしながら、私は今日も練習に励みます。



「一学期の自分を振り返って」2年3組 OO OO さん

ぼくは、総務としてクラスをまとめることを頑張りました。とくに、2分前着席の呼びかけ、朝読書の呼びかけ、集会での点呼など、時計を見ながら行動することがたくさんあって大変でしたが、最後まで責任をもって、やりきることができました。

次に、体育大会では、応援リーダーとして青分団の1、2年生に、積極的にダンスを教えました。当日は全力で声を出して、ダンス演舞、分団応援をしました。結果は優勝することができませんでした。自分がとしては精一杯頑張ることができてよかったです。

今日から2学期が始まります。ぼくがこの2学期で頑張りたいことは3つあります。一つ目は、合唱コンクールの指揮者です。指揮者として、クラスが金賞を獲れるように、僕が中心になって2年3組のみんなと力を合わせて頑張りたいと思います。二つ目は、部活動です。僕は野球部に所属しています。目標である県大会優勝を達成できるように仲間たちと日々練習に励みたいです。三つ目は、学習です。学習面では苦手教科の点数を上げるために家庭学習をコツコツ計画的に頑張ろうと思いました。

以上のように、1学期の経験を生かして、2学期も学習、部活動、学校行事をクラスのみんな、部活動の仲間と共に、一緒に協力しながら成長したいと思います。



「一人では立てなかった舞台」3年2組 OO OOO さん

皆さんは失敗から学んだ経験はありますか。私は太鼓鼓の大会での失敗から、感謝の気持ちを持つことの大切さを学びました。

私はその失敗をするまでの約一年間、褒められたい、認められたい、悪口・陰口を言う人を見返したい、そう思いながら努力していました。だから、結果は出ていました。しかし、褒められる度に、どんどん自分にプレッシャーがかかり、次はもっと頑張らないと、と思いました。このように周りの目を気にしすぎるあまり、期待に応えるのが辛くなってしまい、体を壊したり、家族にストレスをぶつけたりしていました。そんな恥ずかしい自分を見つめ直すこともないまま、大会当日になり、私は誰よりも努力した自信がありました。毎日のように夜遅くまで練習や自主練をしたり、テスト勉強を両立させたり、寝る間も惜しんで打ち込みました。だから、失敗するとは思っていませんでした。私の出番になり、舞台上上がると、一気に緊張が押し寄せてきました。しかも、一人で打つ経験が初めてで、間違えたらごまかせない、取り返しがつかない、そう思いながら打ち始めました。すると、緊張からか、同じ部分を繰り返し打つミスをしてしまいました。どうしようと思っていたら、私は太鼓のパチを飛ばしてしまいました。今まで積み上げてきたものが一気に崩れた気がし、これまで私を応援してくれていた人たちの顔が浮かび、同時に私の自分勝手さに気付きました。その時、もう勝つことはどうでもいい、せめて自分を応援してくれた人に感謝を伝えられる曲を打って終わりにしたい。そう思いながら最後まで打ち切りました。

演奏後は不安のあまり涙が出てきましたが、結果が出るまでの時間、仲間が側で励ましてくれました。感謝の気持ちが伝わったのか、私はジュニアから一般シニアまでの全部門の中から最優秀賞を受賞しました。その時、自分の力だけで取った賞では無いと強く思いました。先生や仲間、家族、そして何より、いつも教えてくれて、励ましてくれて、私の優勝を自分の事のように喜んでくれたおじいちゃん。多くの人たちの支えがあって今の自分がいると思うと、感謝の気持ちが大きくなりました。それと同時に、自分が太鼓をする理由を再発見することが出来ました。それは、応援してくれる人に精一杯の感謝を伝えたり、頑張っている人にエールを送ったりするためです。

最後に、もし、私のように人の目や声が気になって前に進めない人に伝えたいことがあります。それは、あなたを応援してくれる人は絶対にいるということです。周りの声は気にせず、努力することを諦めないでください。

